

育連だより

第5号
 川崎市 上小田中
 中原区 1313-1
 川崎市 育成連盟
 青少年 電話
 044-733-3951
 編集発行人 近賢一
 編集 佐

川崎市子ども会連盟 創立四十周年記念式典挙行



菊薫る十一月二十三日、中原会館に於て、川崎市子ども会連盟創立四十周年記念式典、祝賀会が、深瀬助役、野村議長、全国連会長の御祝辞を頂戴したあと表彰式が行なわれた。

式典は中島連盟長のあいさつのもと、三十年から四十年迄の十年間のあゆみの発表があった。深瀬助役、野村議長、全国連会長の御祝辞を頂戴したあと表彰式が行なわれた。

子ども会を側面からご支援下さった団体、会社、商店、個人、本部役員、配属者、役員、単位子ども会に感謝状や表彰状がおくられた。式典の司会には子ども会のジュニアリーダーとシニアリーダーの若い人が進行役を受もって、

頑張っています 中・高校生部会

部会研修活動

連盟所属四団体から推薦された三十名の部員を四班に編成、指導助言にあたる参与二名ずつを配して構成された中・高校生部会の活動が活発に展開された。

団体交流、ジュニアリーダーの育成を目指すこの事業の目標に沿って、四つのプログラムを企画し運営するのであるが、いずれも積極的に楽しく交流を深める研修であった。

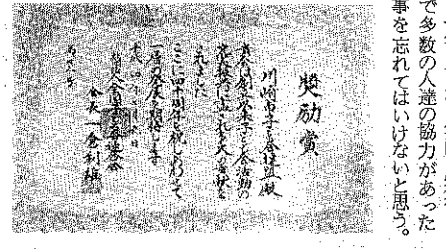
一月のプログラム「もちつき大会」を例にとると、班別企画会議、全体会議への提案、現地指導者(黒川野外活動センター)での事前研修と打ち合わせ、材料買い出しと前日準備、当日の大会運営と後片付け、かなりハードなスケジュールではあったが、部会長、班長の努力と部員の協力の大会では、団体長、事務局長も出席して激励、盛り上がった大会であった。

学業、部活等の合間を縫って、四つの班が分担したプログラムはそれぞれ充実し、研修の成果をあげた。

式典はどこごうりなく行なわれた。

育成連盟から佐近理事長、三団体から、堀田日本ボーイスカウト川崎地区協議会会長、青垣ガールスカウト川崎市連絡会会長、福田川崎海洋少年団団長がご出席された。又OBの方々も多数の方がご出席下さいました。式典終了後、会場を七階に移し祝賀会が行なわれた。区子連旗の入場式から子ども達の民謡まで、中原区手連の協力があり無事終了した。

一年前から企画・実行まで多数の人達の協力があった事を忘れてはいけないと思う。



全子連より表彰

○奨励賞
 川崎市子ども会連盟
 ○優良子ども会
 栗谷子ども会(多摩区)
 ○優良指導者(育成組織)
 麻生区子ども会連合会
 ○指導者・育成者
 古徳 武・栄江江夫妻



シニアリーダー交流研修

地域活動リーダー研修

中・高校生部会員を中心として、四月十日から、三月二十六日から八ヶ岳少年自然の家で二泊三日、本年度まとめの宿泊研修を実施。

シニアリーダー交流研修

他地域との交流と情報交換を主眼に、本年度は沼津市青少年団体との交流研修、三月二十九日から三十一日まで八名が参加。幅広い体験と知識・技能を高める。

福島・あきたの高原 スキー教室 川崎海洋少年団



川崎海洋少年団では、昨年の十二月二十八日から三十日までの二泊三日、平成三年度のスキー教室を実施しました。昨年に引き続き今年で八回目となった今回は、福島県のあきたの高原スキー場に行きました。

昨年の暮れは、降雪量が非常に少なく、行くまでは中止になってしまいかと思いうほどでしたが、出発の前日から大雪になり、なかなかのコンディションでスキー教室を実施することができました。しかし、天候には恵まれません、三日間を通して曇りか、雪のどちらかでした。

スキー場は、初心者から、中級者用のなだらかなゲレンデが多く、初めてスキーをする団員にとっても、話し合ったり、体験したりしました。

午後は、「母親から見たスカウティング」(羽田聡子さん)、「学校から見たスカウティング」(花形勝地区事務局長)の講話のあと、お二人とも先生であることから、学校の週休二日制への動きとボーイスカウトの対応など熱心な質疑応答が交わされた。そのあとは、午後二時からシニア(高校生クラス)選抜チームの「ゴードラス」演技チームの訓練終了にもなう解散式に参加者全員が立会い、若者達の巣立ちに大きな拍手を送り、会議を終了しました。

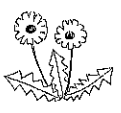
感想を問うアンケートに多くの参加者が有意義であり、また集って語り合いたいと書き残していました。(開設担当 安藤 徹 指導者養成委員長)

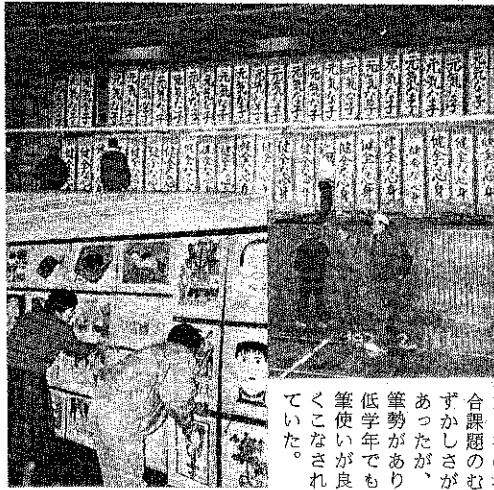
第六回 A K S C 開催

ボーイスカウト川崎地区協議会

ボーイスカウト川崎地区協議会では、毎年秋に指導者が一堂に会し、研さんを深め、問題点を話し合おうと A K S C (オール川崎スカウターズ会議) を開催しています。六回目をかぞえる今回は、この催の原点に立ち戻ろうと、若いリーダーのための「と銘い打って、新装なった「黒川野外活動センター」で十一月十六、十七日、一泊二日で行われました。参加者六十五名という盛況で、初日は川崎地区のスカウト活動の現状、スカウトを増やすためにはどうしたら良いかなどの話のあと、八ツのグループに別れて、野外でパーベキューに舌鼓を打ちながら、年齢も団も異なった指導者同志が、日頃の体験や悩みなどを語り合い、夜の更けるのも忘れるほどでした。

二日目は、ガラリと変って各委員会が長い時間をかけて準備したセッションに分れて参加し、各々の専門テーマに取り組み、真剣に





伸び伸び 作品展

子ども会連盟

第二十五回を迎えた作品展は、川崎市子ども会連盟創立四十周年記念の行事として、二月一日・二日の両日にわたり、市立体育館を会場として開かれた。

出品は各区子連の予選を通過した書道四〇二点、絵画三三三点。

審査は市内小・中学校の書道、美術担当の先生にお願いで行なった。

全体の講評として書・絵ともすぐれた作品が多かった。書の場合、合課題のむずかしさがあつたが、筆勢があり、最優秀賞

- 優秀賞 遠藤麻衣子 小六 宮前
- 優秀賞 木村 千寿 中三 川崎
- 平川みづえ 小四 幸
- 中川 希 小三 中原
- 新藤誠太郎 小三 高津
- 河内 淳平 小二 宮前
- 伊藤 千種 小五 多摩
- 斉藤恵利子 中一 麻生
- 【絵画の部】
- 最優秀賞 井上 麻子 小三 宮前
- 優秀賞 林 友里 小五 高津
- 金子 裕輝 小五 麻生
- 佐々木栄太 小五 幸
- 宮井 綾香 小四 多摩
- 西園 雄裕 小三 中原
- 福田麻衣子 小二 宮前
- 小沢 裕季 小一 川崎
- 入選各十名、佳作各三十名と共に、二月二十七日より三月三日まで、さいが屋八階で展示された。
- (文化広報委員長記)

平成三年十二月二十一日から二十三日の連休に、ガールスカウト川崎市連絡会のシニア・レンジャーの集いが初めて行なわれ、シニア二十四名、レンジャー九名、リーダー・インストラクター十名が川崎市八ヶ岳少年自然の家で、二泊三日交流を深めました。

暖冬ということで、スキーが出来るとても心配しましたが、二十二日の朝バノラマ、スキー場に到着した

シニア・レンジャー 楽しい集いとクリスマス会

ガールスカウト川崎市連絡会

時には、既に滑っている人が多く安心しました。連絡会でのシニア・レンジャーの合同の行事は初めてで、スキーをするのも初めてのスキーも多くいるという面でも心配しましたが、経験によってクラス編成されたグループでのスキー体験は、二泊三日という短かい期間ではありましたが、最終日には初めてのスカウトも滑れるようになり、自由時間を楽しく過ごしました。

二十二日の夜は、研修室で他団のシニアスカウト三名とリーダー一名を招いてのクリスマス会は、レンジャーを中心にキャンドルを燈して、スカウトオン、ゲーム、ケーキを食べながらの楽しいおしゃべり、またグループに分かれてのディスカッションと、時の経つひろめました。二十三日は午前中スキーをして、交通状況の都合で早目に帰り仕

ボーイスカウト



去る一月十九日(日)午後六時から、小杉の総合自治会館一階ホールで地区主催の恒例のニューイヤーパーティーが各団の有志、百二十三名が集って、新年を祝い懇親を深めました。

パーティーは、町田組組長、交流の中で参加の方々、新年の挨拶、今年の抱負を語り合い、十二の卓にボーイスカウトと云う華が咲いた。その様な楽しさの中で、地区内各団の紹介とエール。

坂谷昭一地区委員長の「地区内スカウト人員の増強のために、ここに参加の皆様始め、各団の地域の皆様のご協力を尚一層お願い申し上げます、平成四年度のスカウト活動に向けて、各指導と共に邁進し、よりこの運動を育んで参り、度々「今年で何回目かの年男、さて何回目」との問題に会場笑いと拍手で和やかな雰囲気、さらに「四回目より四十一年の猿年の生れの古



度をして、名残り惜しいスキー場をあとに帰路につきました。この集いで、シニアとレンジャーが一層親しい皆様に改めて、心からお礼を申し上げます。

スカウト活動ができることを願っています。この集いを行なうことになりました。この集いで、シニアとレンジャーが一層親しい皆様に改めて、心からお礼を申し上げます。

ガールスカウト



お天気の様子を気にしながらの開会式、午前中のミニゲームでしな

尾谷です」に一段と大きな拍手、古尾谷名譽会長の若々しい年頭の挨拶。年頭の言葉と一故、馬場義三郎地区相談役へ感謝の黙禱。続いて乾杯、新年の集いが始まった。

懇親、交流の中で参加の方々、新年の挨拶、今年の抱負を語り合い、十二の卓にボーイスカウトと云う華が咲いた。その様な楽しさの中で、地区内各団の紹介とエール。

坂谷昭一地区委員長の「地区内スカウト人員の増強のために、ここに参加の皆様始め、各団の地域の皆様のご協力を尚一層お願い申し上げます、平成四年度のスカウト活動に向けて、各指導と共に邁進し、よりこの運動を育んで参り、度々「今年で何回目かの年男、さて何回目」との問題に会場笑いと拍手で和やかな雰囲気、さらに「四回目より四十一年の猿年の生れの古

が、やはり途中から雨となり、午後のプログラムを変更してユニット毎の時間とし、スカウト達はユニットリーダーのもとゲームやソングを歌うユニット、又皇太子記念館で開かれていた新体操の発表会を見学し、ロープやボールの使い方を教えていただいたユニットもありました。

雨が降らなければ、午後のワイドゲームも楽しめたのにとすこし残念でしたが川崎地区八ヶ岳の参加したスカウト、団委員長・リーダー総勢二四名の友情の輪が又、ひとつ大きく広がったラリーでした。

十月六日、子供の国で、川崎市連絡会行事である年少ラリーが行われました。

去る一月十九日(日)午後六時から、小杉の総合自治会館一階ホールで地区主催の恒例のニューイヤーパーティーが各団の有志、百二十三名が集って、新年を祝い懇親を深めました。

パーティーは、町田組組長、交流の中で参加の方々、新年の挨拶、今年の抱負を語り合い、十二の卓にボーイスカウトと云う華が咲いた。その様な楽しさの中で、地区内各団の紹介とエール。

坂谷昭一地区委員長の「地区内スカウト人員の増強のために、ここに参加の皆様始め、各団の地域の皆様のご協力を尚一層お願い申し上げます、平成四年度のスカウト活動に向けて、各指導と共に邁進し、よりこの運動を育んで参り、度々「今年で何回目かの年男、さて何回目」との問題に会場笑いと拍手で和やかな雰囲気、さらに「四回目より四十一年の猿年の生れの古

編集後記

激動の平成三年が過ぎ、新しい年、平成四年を迎え、何か落ち着かぬうち早や一年の四分の一が過ぎようとしています。

青連だよりも創刊から早や三年、二年の発行ですが、記事が多少古くなり、一つ一つの記録と想って読んで頂ければ幸いです。

毎号、各団体の事務局長さんに原稿をお願いしているものです。読まれた方々のご意見がありましたら、ぜひ各団体の事務局、又は青連の事務室までお寄せ下さいませようお願いします。

ボーイスカウト川崎地区協議会相談役の馬場義三郎氏には昨年十一月二十日、急体調を崩されて入院中、急性心不全のため死去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

氏は、昭和四十六年から五年間、地区事務局長を務められ、その間青連の事務局員としても大いに活躍されました。